



2026/7/10 第48号

愛媛県が推進するEV（電気自動車）の資源循環の取り組みの一環として、中古EVの普及に向けた当社の取り組みがNHKで紹介されました。

近年、脱炭素社会の実現に向けてEVの普及が進む一方、EVバッテリーに含まれるニッケル、コバルト、リウムなどのレアメタルは重要な資源として注目されています。そのため、EVを「使用して終わり」にするのではなく、中古車として活用しながら、最終的にはバッテリーの再利用やリサイクルにつなげる「資源循環」の仕組みづくりが求められています。

愛媛県ではこうした課題に対応するため、2024年に県内外の企業とともに「えひめEVサーキュラーエコノミー推進協議会」を設立し、EVの資源循環モデルの構築を推進しています。

現在は約60社が参画し、新車EVの普及促進から中古EVの流通、バッテリーの再利用・リサイクルまでを見据えた官民連携の取り組みが進められています。

今回のNHKの取材では、愛媛県が進めるEV循環システムの取り組みとともに、愛媛日産の中古EV販売における取り組みが紹介されました。

中古EVの購入を検討されるお客様からは、「バッテリーの劣化状況が分からない」「どの程度走行できるのか不安」といった声が聞かれます。こうした課題に対し、愛媛日産では、えひめEVサーキュラーエコノミーに参画するIT企業が実施するEVバッテリー診断技術を活用し、バッテリー性能や航続可能距離の診断結果をお客様へ分かりやすく提供しています。

取材では、EV車両の点検・整備の様子や、診断結果を確認する場面、性能保証書を用いた説明の様子などが撮影されました。バッテリーの状態を客観的なデータで可視化することで、お客様が安心して中古EVを選択できる環境づくりにつながっています。

また、愛媛県への取材では、EV資源循環に取り組む背景や、えひめEVサーキュラーエコノミー設立後の成果、今後の展望についても紹介されました。EVの価値を最大限に活用するためには、新車販売だけでなく、中古車流通、バッテリーの再利用、そして資源回収までを一体的に考えることが重要であり、愛媛県では全国に先駆けたモデル構築を目指しています。

愛媛日産は今後も、先進的なバッテリー診断技術を活用しながら、お客様に安心してEVを選んでいただける環境づくりに取り組むとともに、愛媛県および参画企業の皆さまと連携し、持続可能なモビリティ社会と循環型社会の実現に貢献してまいります。



ニュース報道

<https://www.web.nhk.tv/pl/schedule-tep-g1-130-20260710/ep/RNN9867W9J?startOffset=1888>